

要 望 書

◇大飯原発3・4号は新規規制基準に適合していません

直ちに運転停止するよう求めてください

◇高浜原発3・4号の再稼働とプルサーマル再開に反対してください

大阪府知事 松井 一郎 様

7月3日、原子力規制委員会は、7月8日の新規規制基準施行後も、大飯原発3・4号を、9月の定期検査まで運転継続することを認めました。

しかし、原子力規制委員会が7月3日にまとめた「関西電力（株）大飯発電所3号機及び4号機の現状評価書」では、地盤の調査について新基準に照らして不適合であることを認めながら、「直ちに安全上重大な問題が生じるものではない」と結論づけています。

さらに、6月21日に参議院議員会館で行われた国会議員・市民団体と原子力規制庁との交渉では、以下のことが明らかになりました。

- ・敷地内破砕帯（断層）評価を「時間切れ」として評価の対象から外した。
- ・活断層3連動時の制御棒挿入性について、「評価手法がこれまでと変わっていないことを確認しただけで、関電からデータは示されていない」と認め、関電が示した数値の妥当性を確認していない。
- ・3連動を基本とする基準地震動は策定されていない。
- ・免震事務棟は未完成だが、その代わりに、1・2号の中央制御室横の会議室（免震構造ではない）を緊急時対策所としている。
- ・基準津波も決まっておらず、防潮堤も完成していない。

交渉では、新基準を満たしていないのに、運転継続できる法的根拠はあるのかと尋ねると、規制庁は一切答えることができませんでした。法的根拠もなく、大飯3・4号の運転を続けることは許されません。

さらに、関電は、新規規制基準施行後すぐに、プルサーマルを前提とした高浜原発3・4号の再稼働申請を行おうとしています。しかし、高浜3・4号は、再稼働の条件である防潮堤もまだ完成しておらず、再稼働そのものが許されるものではありません。6月27日には、多くの反対の声を押し切って、MOX燃料の搬入を強行しました。プルサーマルの新基準もなく、関電のMOX燃料のデータは非公開のままです。危険性をより高めるプルサーマル再開などをもってのほかです。

田中原子力規制委員長は、これまで、地域防災計画ができていることが再稼働の前提だと何

度も話しています。しかし、6月21日の規制庁との交渉で、規制庁は「委員長がそのように話していることは理解している。しかし、法的には防災計画の策定と再稼働はリンクされていない」と委員長の見解を否定するような発言を繰り返しました。福島原発事故後、地元福井県をはじめ、大阪府の原子力防災計画もまだ改定されていません。関西広域連合の原子力防災計画も、琵琶湖が汚染された時の水の確保策もまだこれからというように、全く現実的なものではありません。このままでは府民の命は守れません。大阪府として、現実的な原子力防災計画の策定なしに再稼働をすることに反対してください。

下記の要望事項に対し、文書での回答を求めます。

要 望 事 項

1. 原子力規制委員会と関西電力に対して、新規制基準に適合していない大飯3・4号の運転を直ちに停止するように強く求めて下さい。
2. 高浜3・4号の再稼働とプルサーマル再開に反対であると表明して下さい。

2013年7月5日

提出団体：29団体

日本消費者連盟関西グループ、「六ヶ所村ラブソディエー」を上映する会 in 阪南中央病院、福島の子どもたちを放射能から守ろう・関西、吹夢キャンプ実行委員会、脱原発で生きたい女たち・豊中、NPO 地球とともに、美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（美浜の会）、放射能防御プロジェクト近畿、さよなら原発箕面市民の会、市民のひろば、たまつくり kafe、脱原発へ！関電株主行動の会、阪南中央病院労働組合、大阪の公害問題を考える会、放射能から子どもと未来を守る市民の会、全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部桜宮化学分会、mame-ten-café、関西から食卓を考える会、みのお放射線はかり隊、放射能から子どもを守る会箕面、放射能から豊中の市民・子どもを守る会、みみずの会、原発やめよう/つながろう関西・マダム会議、大阪大学付属病院看護師労働組合、福島原発からの放射能放出をやめてほしいと願う阪大病院看護師の会、ぴあ・ネット／100万年の会、大阪此花発！STOP がれき 近畿ネットワーク、子どもたちに未来をわたしたい・大阪の会、ストップ原発の会

連絡先団体：美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（美浜の会）

〒530-0047 大阪市北区西天満 4-3-3 星光ビル 3 階 TEL 06-6367-6580 FAX 06-6367-6581